

県北地区 「信夫三山 暁（あかつき）まわり」参加

報告：福島1団団委員長 大関宏之

ボーイスカウト福島地区連絡協議会は2月21日、世界一大きなわらじを担ぐ「信夫三山暁まわり」に参加しました。

福島市の暁まわりは、信夫山にある羽黒神社に長さ12mの大わらじを担いで奉納する江戸時代からの伝統行事です。大わらじは市内のまちなか広場から羽黒神社までの約3.3Kmを担ぎ手約70人によってまちなかをねり歩き、神社に奉納されました。

今年は市内の3つの団（福島1団、3団、4団）からスカウト、指導者ら30人が参加し、信夫山中腹の黒沼神社からわらじの先頭に付けたロープを引っ張って羽黒神社に大わらじを奉納しました。

福島市より依頼を受け、昨年度より市内の各団が参加奉仕をしております。

この日は異常気象のせい、日中の気温が2月とは思えないほど高くなり、半袖半ズボンでロープを引くカブスカウトの姿も見られました。スカウト活動の目標の、神（仏）と身のまわりの人たちについて認識させる（BVS）、神仏をうやまい、自分への責任をはたす（CS）、神（仏）を敬い自分のつとめを行う（BS）などスカウト活動目標につながり、さらには自分達の地元の伝統文化に触れる活動になりました。



ロープを引っ張るスカウト達



大わらじが急な階段を担ぎ上げられました



無事、大わらじを奉納